

2か月以上の育児休業取得者にチャイルドケア奨励金を支給 社外の男性パートナー※1も対象に

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区 社長:横手喜一)は、2023年4月より、従業員がパートナーと共に育児を行いながら、望むキャリアを形成できるよう支援するためのプログラム「Careering And Parenting Program for Partners (CAPPs)」を開始します。本プログラムは、キャリア開発を目的とした「Careering Program」と、ライフイベントに左右されず仕事に集中できる環境整備を目的とした「Parenting Program」から構成されます。

ポーラ・オルビスグループでは、2022年にダイバーシティ推進委員会を設置し、一人ひとりが能力を最大限に発揮できる環境づくりを推進しています。中でもダイバーシティを実現するために不可欠な取り組みである女性活躍を推進するため、女性のキャリア形成に影響を与える要因の一つである家庭における役割のジェンダーギャップ解消に向けて「Parenting Program」を拡充しました。

※1 当社女性従業員の社外パートナー

Parenting Program①チャイルドケア奨励金

パートナーが共に一定期間以上の育児休業を取得することを促進するため、当社従業員ならびに当社女性従業員の社外パートナーが2ヶ月以上の育児休業を取得した場合に奨励金を支給します※2。

育児休業取得による家計への影響を最小限にとどめることで、パートナーと共に育児休業を取得しやすい環境を整備します。

※2 当社従業員の場合:最大35万円支給(取得期間に応じる)、当社女性従業員の社外パートナーの場合:育児休業給付金と年収との差額を支給(年収に応じて月額最大15万円、最長1年間)

Parenting Program②ワークショップ

当社従業員および当社従業員の社外パートナーを対象に、妊娠・出産・育児に関する情報のインプットや、パートナーと共に育児を行うマインドセットを行います。育児休業を取得する前に、子どもが生まれた後の家庭のあり方や役割分担を共有することで、家庭における役割のジェンダーギャップ解消を狙っています。

Parenting Program③座談会

育児に関する情報交換・発信を行う座談会を開催します。育児休業を取得することに対する職場全体の理解を図り、特に男性従業員の育児休業取得に対する心理的負担の軽減に寄与します。

本プログラムを通して、双方が当事者意識を持って育児に取り組めるよう支援することで、誰もが望むキャリアを形成できる環境の実現を目指します。

今後もキャリア形成に資する多様な経験やスキルが得られるよう、本プログラムの整備・拡充に取り組んでまいります。

【報道関係者の皆様からのお問合せ先】

(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室

広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

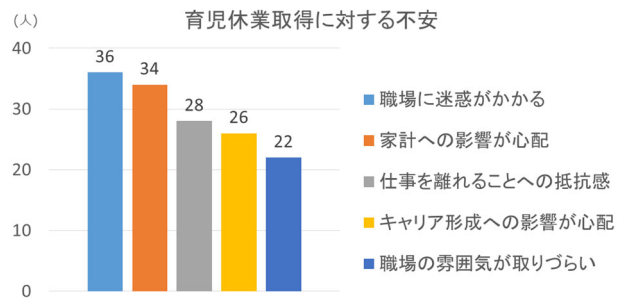
※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。

【補足資料 1】 キャリアと育児の両立に関するアンケート結果

当社従業員を対象にキャリアと育児の両立に関する意識調査を実施したところ、「キャリアを形成する上で家庭との両立(育児)が不安」と感じる女性が男性と比較して多い傾向にあることが分かりました。

また、一定期間以上の育児休業を取得するにあたり、家計への影響に対する不安やキャリア形成への影響に対する不安、職場の理解に対する心理的不安があることが分かりました。

調査対象者:ポラー・オルビスホールディングス従業員 107 名
調査期間:2022 年 7 月 6 日～7 月 11 日※複数回答可



【補足資料 2】 株式会社ポラー・オルビスホールディングス HR 室 えくに たかやす 江國 敬泰

女性従業員が 70%以上を占める当グループにおいて、一人ひとりの能力を最大限に発揮できる環境づくりの推進には、女性従業員がライフイベントに左右されず、活躍できる環境の整備が不可欠です。これまで、時短勤務制度の導入や育児休業を取得した女性の早期復帰を目的として、職場復帰サポート手当を支給するなどの取り組みを行ってきましたが、女性従業員がサステナブルに活躍するためには女性従業員のパートナーの協力が必要です。

そこで、本プログラムでは、『キャリアも家庭もパートナーと共に築いていく』をテーマに、当社従業員にとどまらず、当社に所属していない当社女性従業員の社外パートナーも巻き込んだ取り組みを始めることにしました。本取り組みが家庭の在り方やキャリアをパートナーと共に考えるきっかけとなればと思っています。